

映画『ナオキ』 上映&監督トーク

日時：2023年9月23日(土) 10時~17時

入場無料・申込制

会場：日本映画大学 新百合ヶ丘校舎 4階 大教室

主催：日本映画大学 協力：ドキュメンタリードリームセンター

ドキュメンタリー映画『ナオキ』上映 (10:00~11:50) ※開場9:30

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2009 のコンペティション部門に選出され、特別賞と市民賞の2冠を獲得したショーン・マカリスター監督のドキュメンタリー映画『ナオキ』を無料上映致します。上映後には監督トークもごさいますので、この機会にぜひお越しください。

【あらすじ】

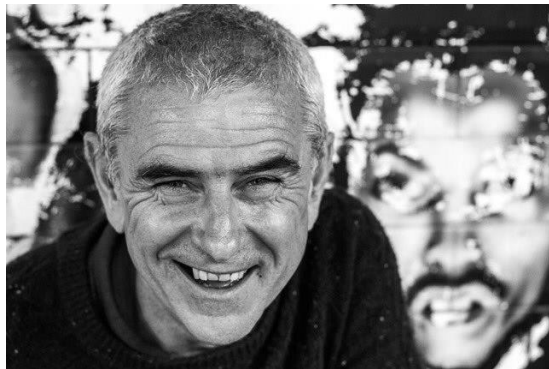
イギリス人監督が山形を舞台に日本のワーキングプア層の悲哀と希望を描く国際共同制作作品。かつて学生運動に身を投じ、事業で成功、バブル崩壊で転落、今は郵便局でアルバイトをしながら20代の恋人と暮らすサトウ・ナオキさん。時代を映す自らの人生をチャームに、誠実に、カメラにさらしていく彼を通して、監督は先進国ニッポンの陰の現実に素朴な問いを投げかけ、友情を深めながら人間関係を変えていく。

監督トーク (13:00~14:30)

『ナオキ』上映後には、ショーン監督の公開授業を開催致します。普段はイギリス在住のショーン監督のお話をお聞きするまたとない機会となります。

ショーン・マカリスター

映画監督・撮影監督



1965年、ハル生まれ。16歳で学校を出て、いくつかの工場を転々として働いていた時にカメラと出会い、国立映画学校に入学。1996年に卒業後はBBC、チャンネル4、NHKのために映画を作り、数々の賞を受賞した。これまでイラク、イスラエル、日本で撮影してきた。マカリスターは、自分の映画について「逆境を生き延び、政治的および個人的な対立に巻き込まれつつ、私たちが住む世界の意味を理解しようともがく、世界の様々な地域の人々の内面的なポートレート」と語っている。主な作品は、『Working for the Enemy』(1997)、『The Minders』(1998)、『Settlers』(2000)、『Hull's Angel』(2002)、『Liberace of Baghdad』(2005)、『The Reluctant Revolutionary』(2012)『気乗りのしない革命家』(The Reluctant Revolutionary, 2012)がある。『シリア、愛の物語』は2015年シェフィールド・ドキュメンタリー映画祭で審査員大賞を受賞。常に観客にひらめきや驚きを与え、魅了する作品の制作を行っている。

学生の企画プレゼン (15:00~17:00)

最後は、日本映画大学生によるドキュメンタリー映画の企画プレゼン授業を公開。Q&Aを行います。

申し込み方法

右記の専用フォーム (QRコード)、または下記 URL よりお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1VKV5N2KaUWYmXkxDGsjdzVh7O49cplP7ev2NNuhZwPU/edit>

※定員 80名 (先着順)



会場

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-30

日本映画大学 新百合ヶ丘校舎 4F 大教室

お問い合わせ

r.shimada@eiga.ac.jp (担当：島田)